

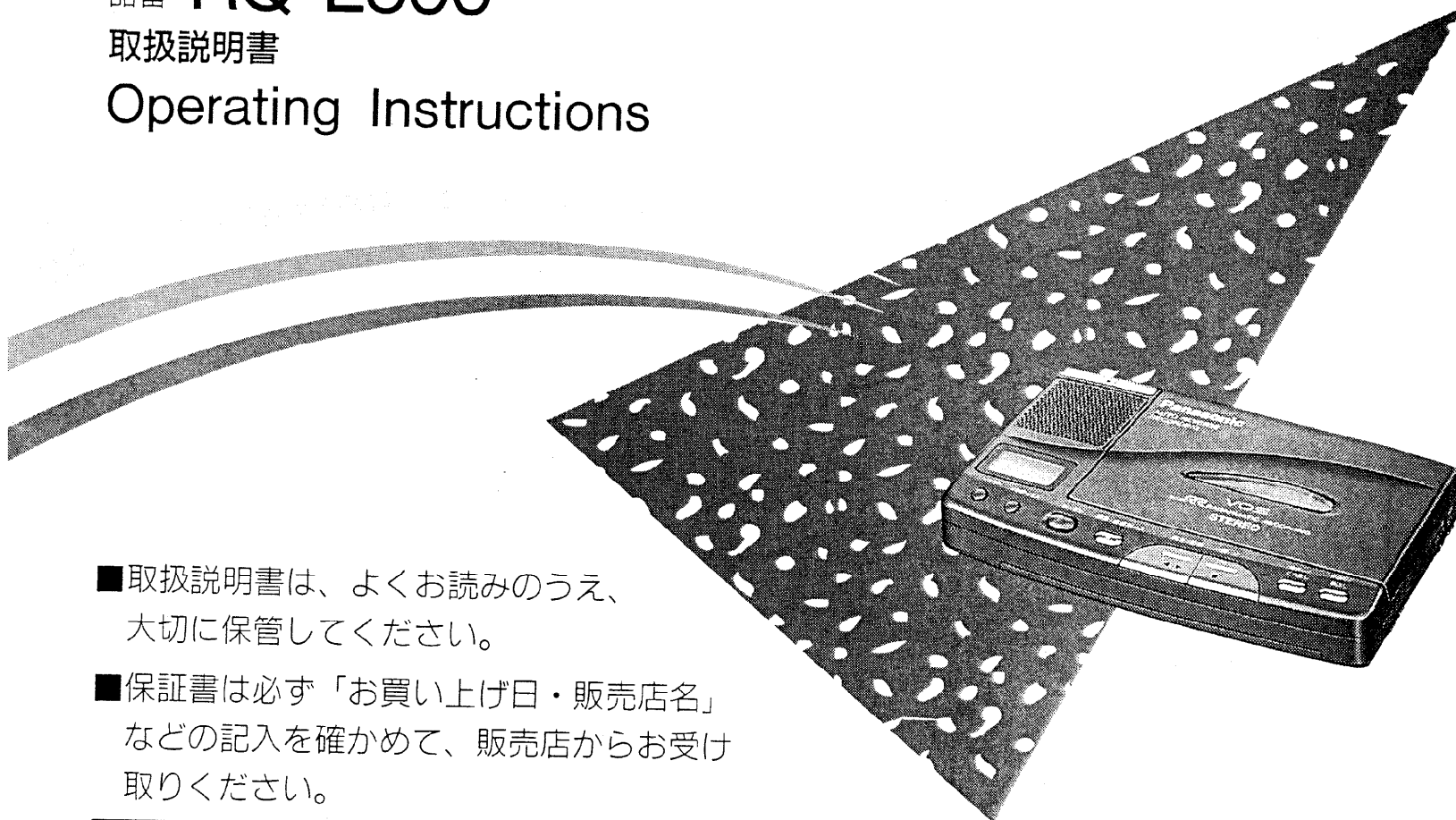
ミニカセット レコーダ  
Mini Cassette Recorder

品番 **RQ-L500**

取扱説明書

Operating Instructions

**Panasonic**

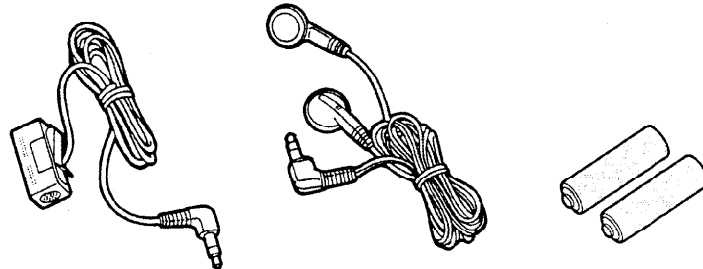


- 取扱説明書は、よくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

保証書別添  上手にを使って上手に節電

このたびは、パナソニック ミニカセットレコーダRQ-L500をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

### 付属品



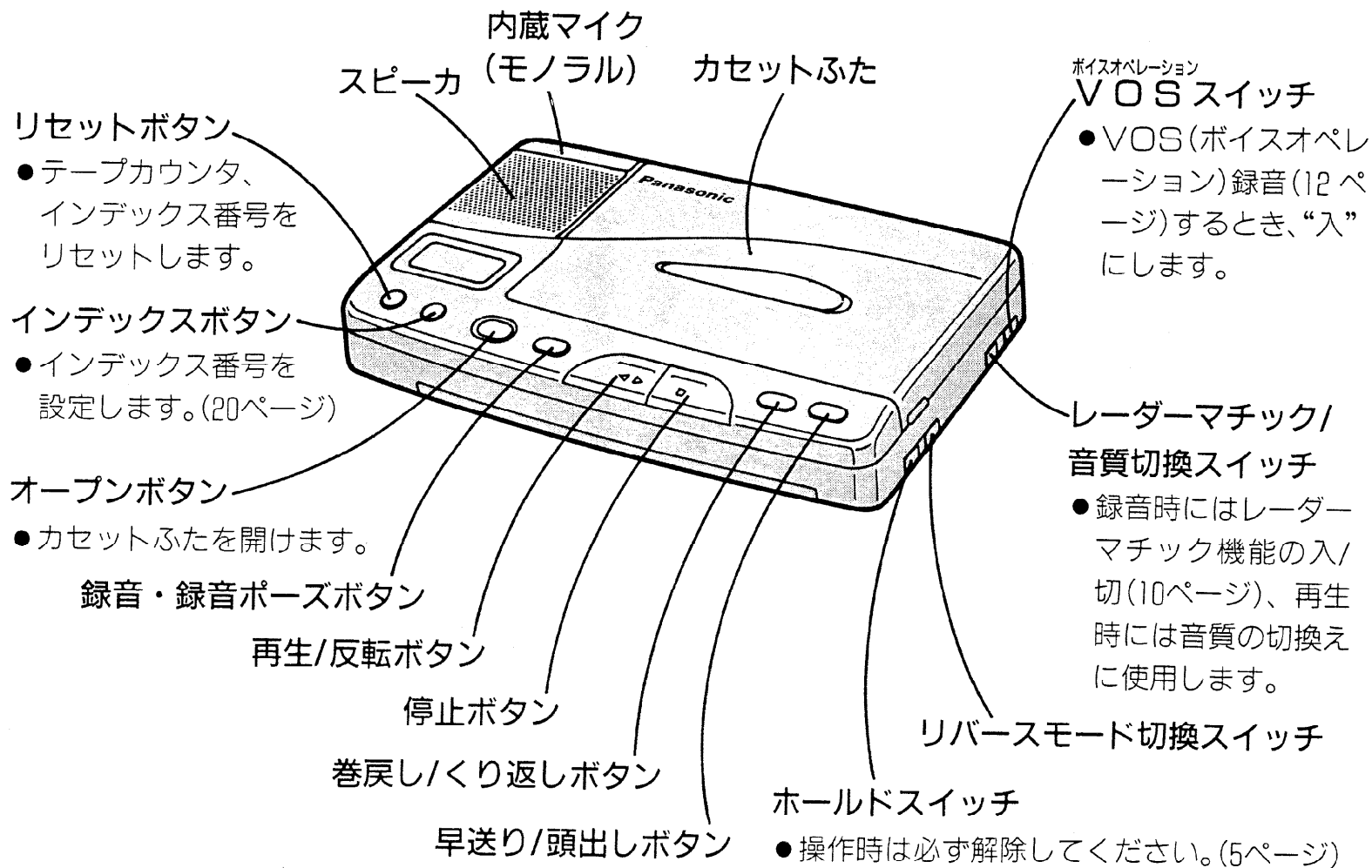
- ワンポイントステレオマイク
- ステレオインサイドホン
- 単三形乾電池(2本)

## もくじ


各部のなまえと働き	3
電源について	6
録音/再生の準備	8
録音するには	9
テープを聞くには	18
インデックス機能について	20
お手入れ	22

安全にご使用いただくために	23
故障!?と思う前に	24
別売りアクセサリ	25
アフターサービス	26
定格	27
Operating Instructions	28

# 各部のなまえと働き



DC INジャック (DC IN 1.5V )

ヘッドホンジャック ()

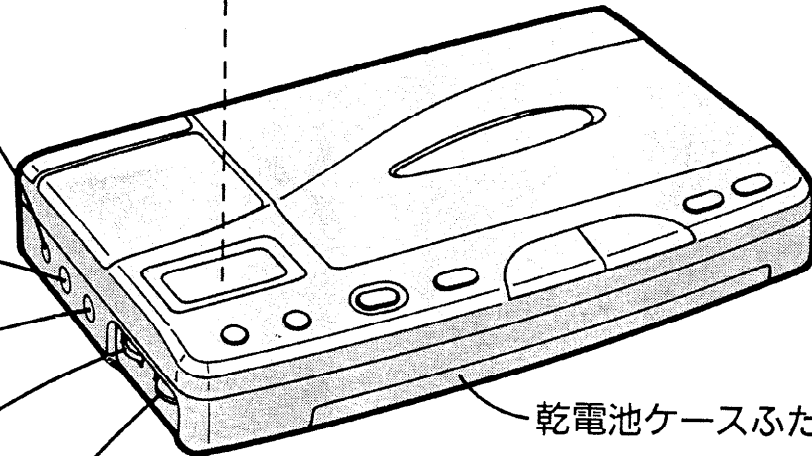
ステレオマイクジャック

テープスピード調整つまみ

- 再生時のテープスピードを調整します。  
録音時には働きません。

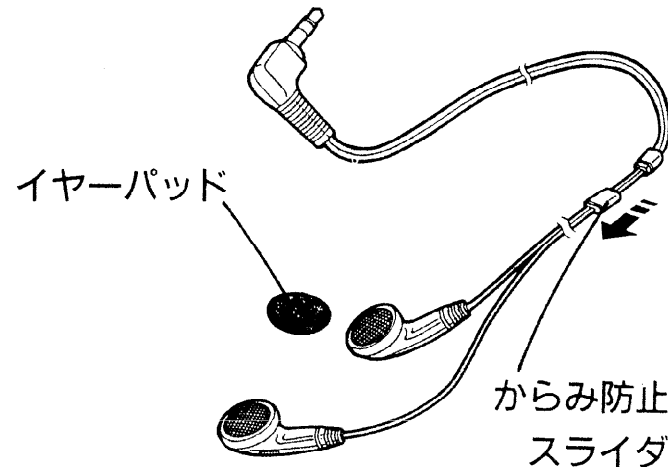
ボイスオペレーション  
音量/VOSレベル調整つまみ

- 再生時、モニタ録音時には音量の調整、VOS録音時 (ボイスオペレーション12ページ)にはVOSレベルの調整をします。



乾電池ケースふた

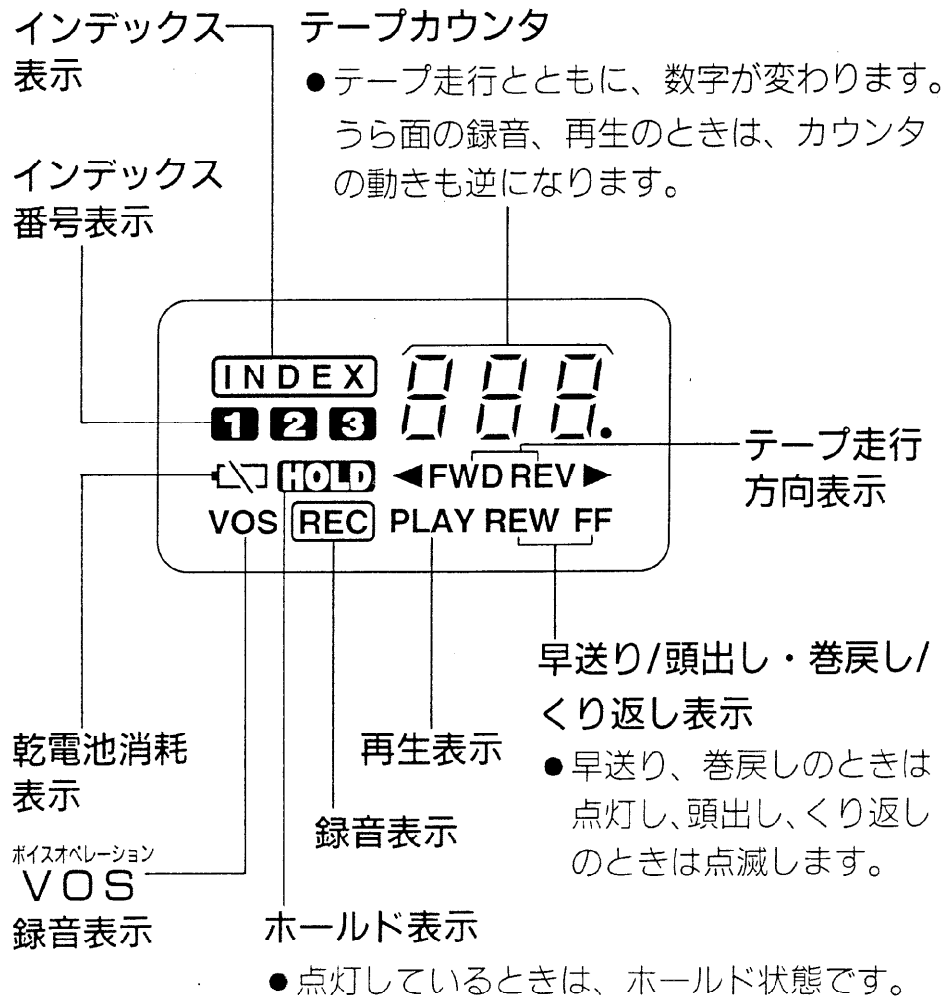
ステレオインサイドホン



イヤーパッド

からみ防止  
スライダ

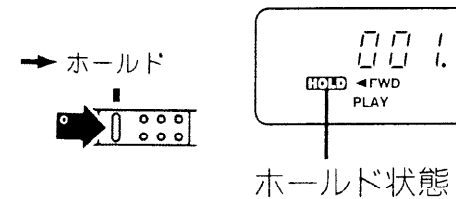
## ディスプレイ部



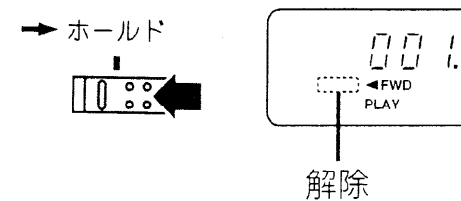
## ホールドスイッチについて

誤操作を防ぐためのスイッチです。  
“ホールド”位置にすると、各操作ボタンが保持状態となり、押しでも動作しません。(ホールド状態)

誤操作や、誤動作による電池の消耗を防ぐことができます。



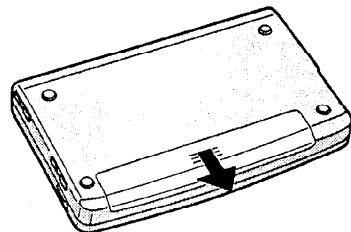
●操作の前には、ホールド状態を解除してください。



# 電源について

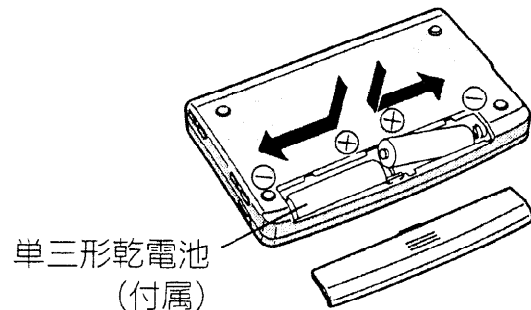
## 乾電池で使用するには

### 1 乾電池ケース ふたを開ける



二本使用すると、長時間の録音、再生ができます。(一本だけでも使用できます。)

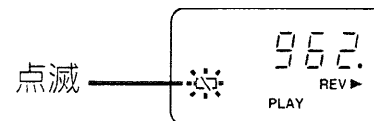
### 2 乾電池を入れる



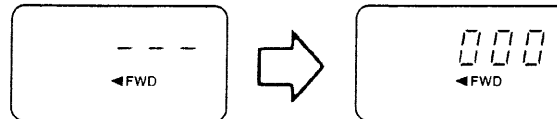
ディスプレイに“---”が表示されたのを確認してから、録音/再生の準備(8ページ)を行ってください。

### 取替時期は

音がひずんだり、小さくなったり、動作に異常が現れたときは、全部新しい乾電池と取替えてください。ディスプレイの乾電池消耗表示の点滅が、目安になります。



- 乾電池を取替えると、ディスプレイに“---”が表示されます。テープを入れるか、すでに入っているときには再生/反転ボタンを押して、ディスプレイを“000”にしてから操作してください。



- ディスプレイが変わらないときは、取替えた電池が消耗していますので、再度新しい電池と取替えてください。

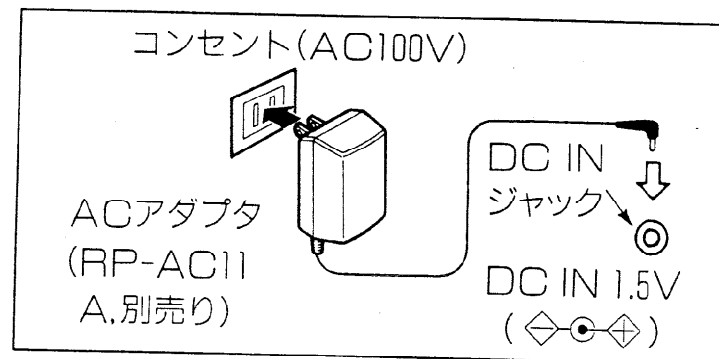
乾電池は使いかたを誤ると破裂や破損、液もれのおそれがあります。

次のことは必ずお守りください

- 新しい乾電池と使用した乾電池は混用しないでください。
- 同じ種類の乾電池を使用してください。
- 乾電池は充電式ではありません。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
- 火の中への投入や、ショート(短絡)、分解、加熱しないでください。
- 長時間使用しないときは、乾電池の漏液による損傷を防ぐため、乾電池を取出しておいてください。

## 家庭用電源(AC)で使用するには

ACアダプタ(別売り)を接続すると、AC電源で使用できます。



- ACアダプタは必ず指定のアダプタをご使用ください。市販のアダプタには極性が反対のものがあります。
- 乾電池電源で使用するときは、必ず本機側のプラグをはずしてください。そのままでは乾電池電源に切換わりません。
- 本体とACアダプタは少し離してお使いください。近づけすぎるとハム(ブーンという音)が出ることがあります。

# 録音/再生の準備

本機では、録音、再生共ノーマルタイプのテープを使用してください。

## 1

### テープを入れる

③テープを  
入れる

おもて面

②  
手で開ける

うら面

①押す

- ふたを閉めると、テープのたるみを自動的に巻取ります。  
乾電池取替え後は、ディスプレイが“---”から“000”に変わります。

## 2

### リバースモードを選ぶ

リバースモード

→ ↔ (P.B) ...再生時

→ ← (REC) ...録音時



↔ ...片面ずつ録音します。

↪ ...両面に続けて録音、再生します。

- うら面(REV)からスタートすると、うら面だけ録音、再生します。

↺ ...両面をくり返し再生します。

- カセットふた開閉後または乾電池取替え後、おもて面(FWD)より録音、再生を始めます。

### リーダーテープについて

テープの両端にある、録音できない部分のことです。



# 録音するには

自動録音調整回路が働きますので、録音レベルの調整は必要ありません。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

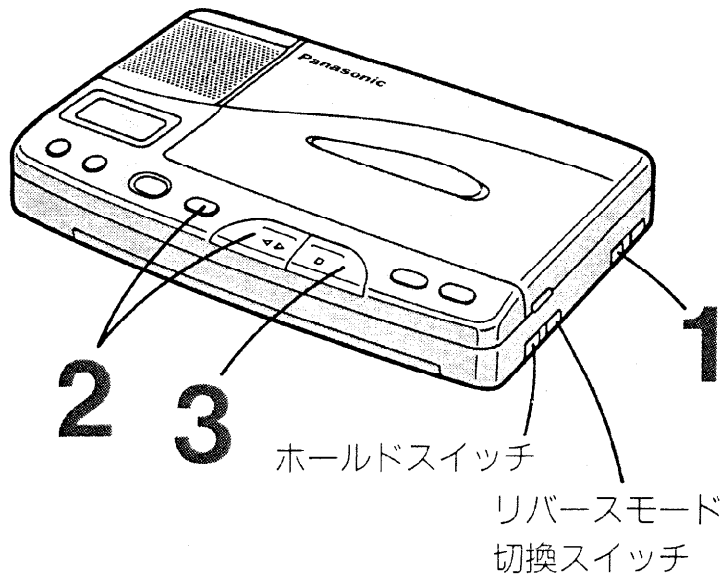
次の3種類の録音ができます。

<b>遠くの声クリアに録音</b> (10ページ)	本機のレーダーマチック機能により、遠くの声クリアに録音することができます。
<b>音声を感知して録音を開始</b> (12ページ)	<small>ボイスオペレーション</small> 本機のVOS機能により、音声を感知すると自動的に録音を開始、音声がなくなると停止します。
<b>ステレオ録音</b> (16ページ)	付属のワンポイントステレオマイクを使用すると、ステレオ録音することができます。

## 遠くの声をクリックに録音するには

本機はレーダーマチック機能により、遠くの人  
の声をクリアに録音することができます。  
学校での講義や会議での使用に便利です。

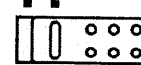
- 人の声以外(音楽など)を録音するときは、  
レーダーマチック録音をしないでください。



ホールドスイッチを解除し、“録音/再生の準備”(8ページ)

### 1 レーダーマチック 録音モードにする

レーダーマチック/音質  
切/低 入/高



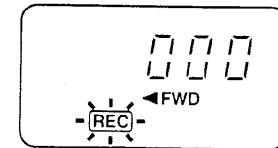
“入”にする

### 2 録音開始

録音・録音ポーズ



押しながら、  
REC が  
点滅してから

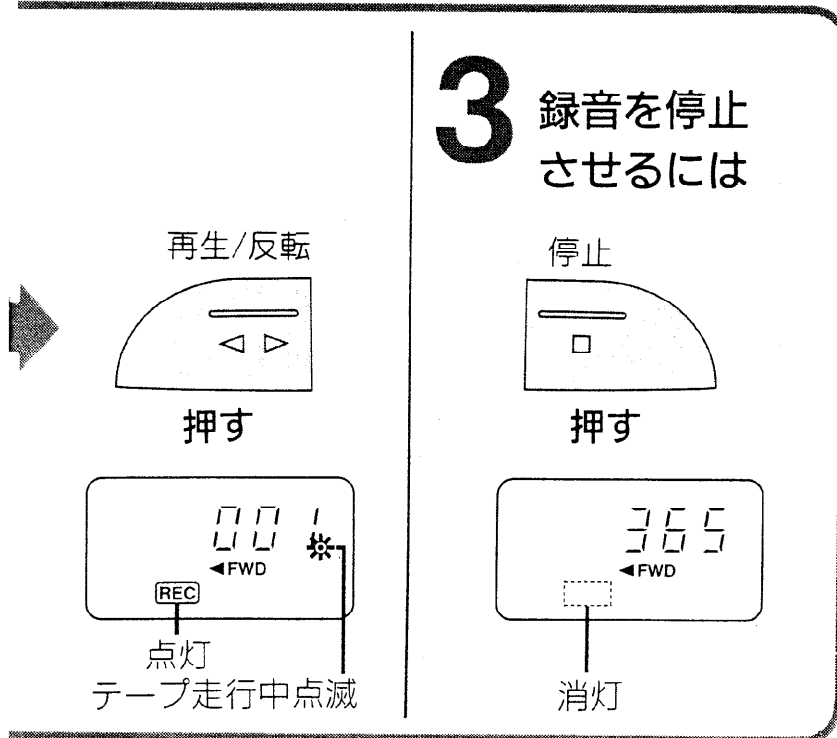


点滅

ヒント：

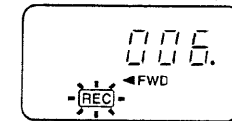
録音中、再生中にインデックス機能(20ページ)を  
使って、再生したいところを記憶させておくと、  
頭出しに便利です。

をします。



録音を一時的に止めるには  
録音・録音ポーズボタンを押します。

録音・録音ポーズ

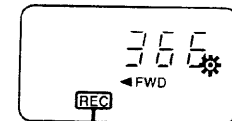


点滅

録音・録音ポーズボタンを  
押し続けている間は、テー  
プが走行し、無録音部分を  
作ることができます。

録音を再開するときは、再生/反転ボタンを押  
します。

再生/反転



点灯

ご注意

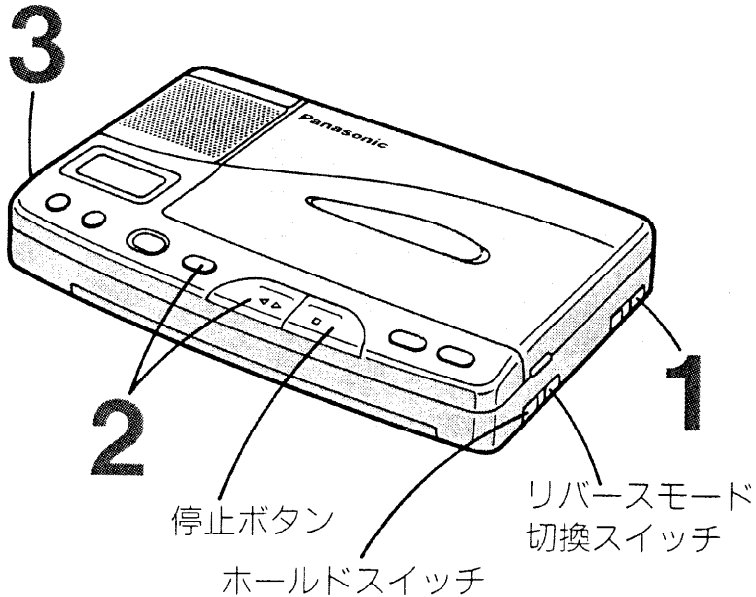
- 録音中は、誤操作防止のため、不必要な操作ボ  
タンは、自動的にホールド状態になります。
- 録音時の条件によっては、レーダーマチック録  
音の効果が十分得られない場合があります。

## 音声を感知して録音を開始させるには

マイクに入る音声の大きさを感知して、自動的にテープを走行、停止させる機能です。

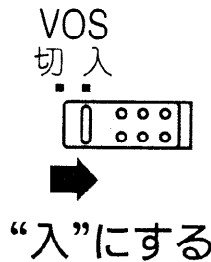
ボイスオペレーション

VOS切換スイッチを“入”にすると、マイクに音声が入っているときテープが走行し、静かになると約4秒後に止まります。



ホールドスイッチを解除し、“録音/再生の準備”(8ページ)を

### 1 ボイスオペレーション VOS録音モードにする

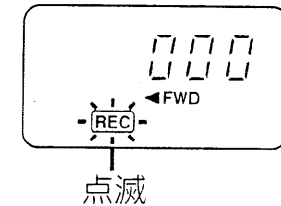


### 2 録音開始

録音・録音ポーズ

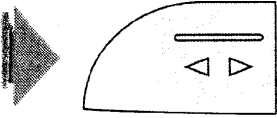


押しながら、  
REC が  
点滅してから



します。

再生/反転

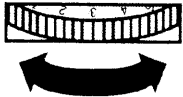


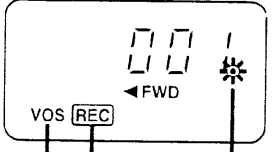
押す

# 3

ボイスオペレーション  
VOSレベルを調整する  
(次ページの表参照)

音量/VOS



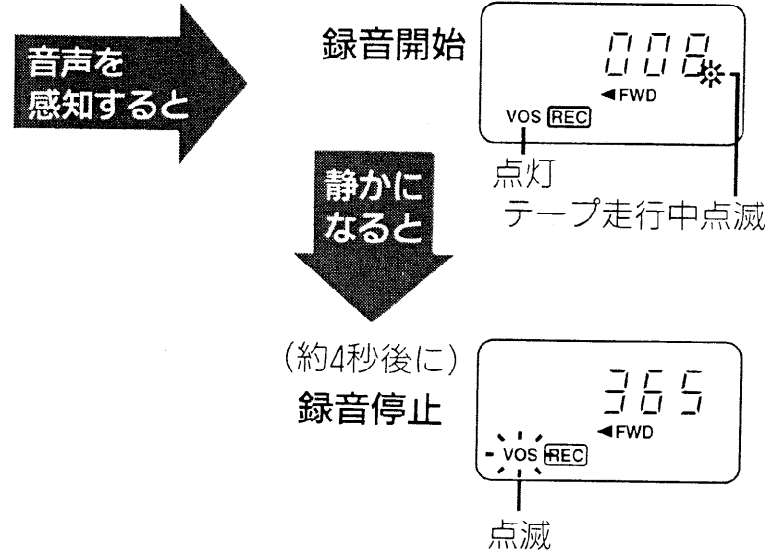


点灯      テープ走行中      点滅

ボイスオペレーション

- 音量/VOSレベル調整つまみが“0”位置では録音されません。

- 音声が入ってテープがスタートしたとき、立上がり部分の音声がわずかに途切れることがあります。



録音を止めるには  
停止ボタンを押します。

ご注意

- 録音中は、誤操作防止のため、不必要な操作ボタンは、自動的にホールド状態になります。

## VOSレベルの調整

周囲の雑音や声の大きさなどを考慮して最適位置を決めてください。

調整のめやす	音量/ ボイスオペレーション VOSレベル
通常はこの位置に合わせて録音してください。	4 ↔ 7
大きな音声だけ録音します。 録音したい音声でも小さいとテープが走行せず、録音できないことがあります。	1 ↔ 3
小さい音声も録音します。 録音したくない音声（周囲の雑音など）でもテープが止まらず録音されることがあります。	8 ↔ 10

## ご注意

- 付属のワンポイントステレオマイクや、外部マイクを接続したときにも<sup>ボイスオペレーション</sup>VOS録音ができます。使用するマイクによって、レベルが変わりますので、音量/<sup>ボイスオペレーション</sup>VOSレベル調整つまみを最適位置にしてください。
- レーダーマチック機能を併用するときは、手順1のあと、レーダーマチック切換スイッチを“入”にします。  
※レーダーマチック録音にすると、マイクの感度が上がりますので、VOSレベルが左記のレベルよりも、少し敏感になります。

## モニタについて

録音している音声を、付属のインサイドホンで聞くことができます。

音量調整つまみで、モニタの音量を調整してください。

### ご注意

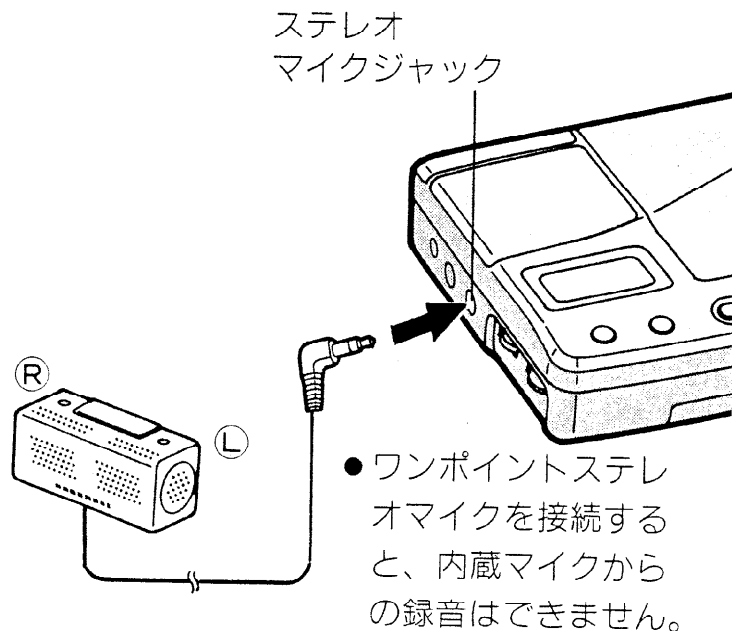
- インサイドホンをマイクに近づけすぎると、ハウリング(ピーという音)が起こります。  
このようなときは、マイクとインサイドホンを離すか、音量調整つまみをしぼってください。
- ボイスオペレーションVOS録音中は、モニタの音量を変えると、ボイスオペレーションVOSレベルも変わります。

## 録音を消すには

録音済みのテープに録音すると、前の録音は消されます。すべての録音を消したいときは、消去用プラグ(別売り)をステレオマイクジャックに差込んで、録音状態でテープを走行させてください。

## ステレオ録音するには

付属のワンポイントステレオマイクを使用すると、ステレオ録音することができます。



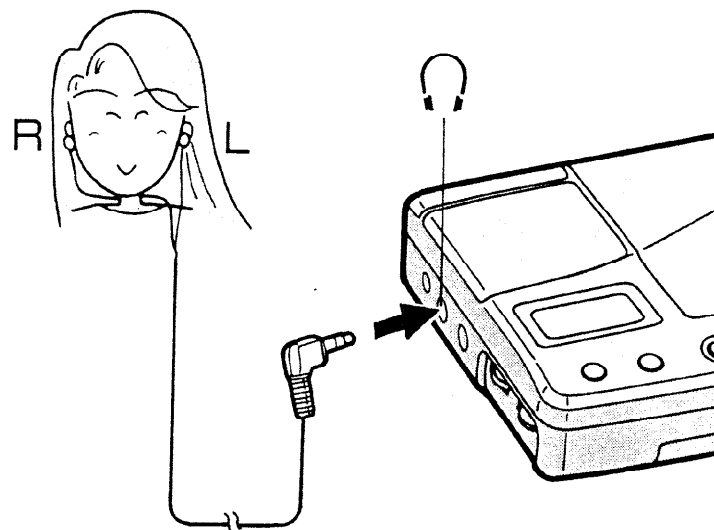
### ご注意

録音中にワンポイントステレオマイクを抜差ししないでください。ノイズ(雑音)が録音されたり、レベルが変わることがあります。

16

## ステレオ録音したテープを聞くには

付属のステレオインサイドホンを使用すると、ステレオで聞くことができます。



- スピーカからの音声は、モノラルです。



## カセットテープについて

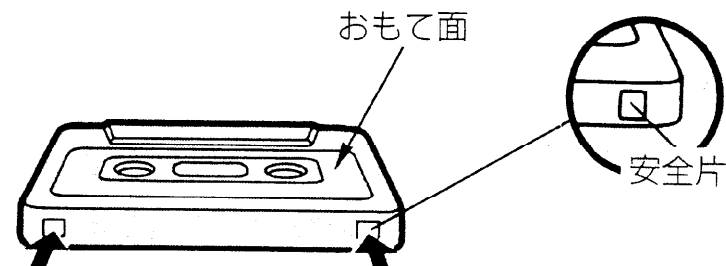
ノーマルタイプのカセットテープを使用してください。クロームタイプやメタルなど他のテープを使用しますと、本機の性能を十分発揮できないことがあります。

### ■90分を越えるテープについて

長時間の使用には便利ですが、テープが薄く伸びやすいため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しなどをくり返すと、テープが回転部分に巻込まれることがありますので、ご注意ください。

### ■誤って消さないために

カセットテープにはおもて面(A面)とうら面(B面)に誤消去防止のための安全片がついています。

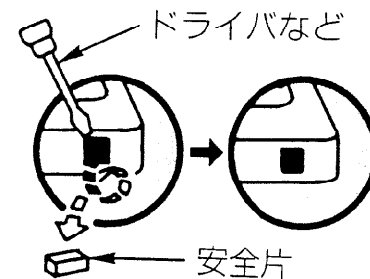


うら面用安全片 おもて面用安全片

### ●誤消去を防ぐには

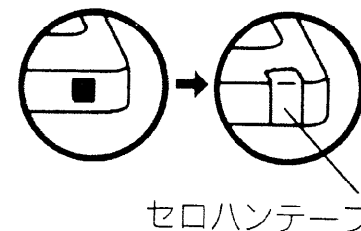
ドライバなどで安全片を折取る。

安全片は折残りが  
ないように完全に折  
取ってください。



### ●再び録音するには

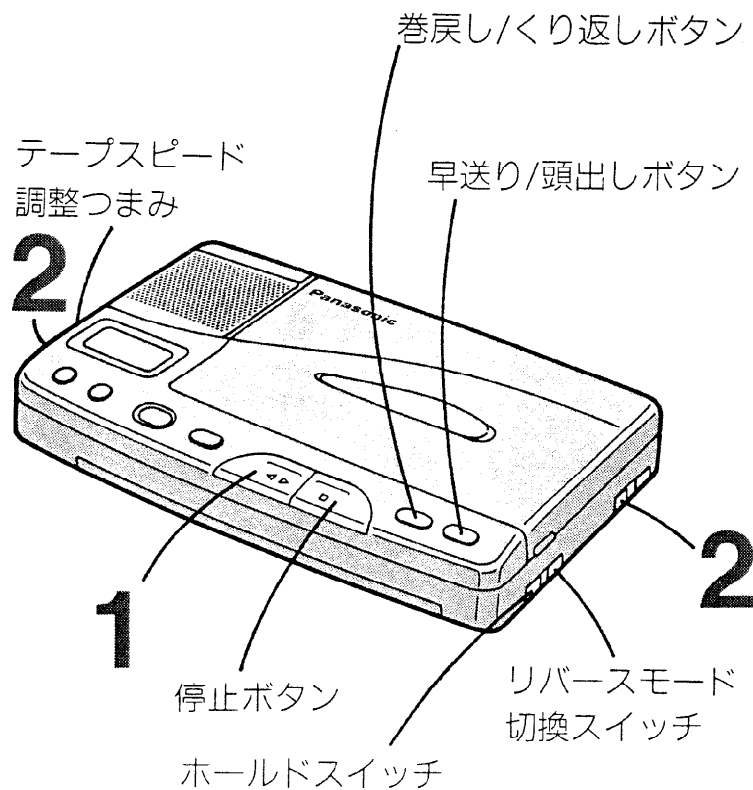
セロハンテープを貼って穴をふさぐ。



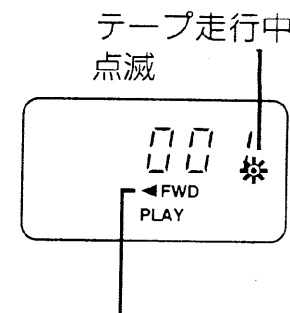
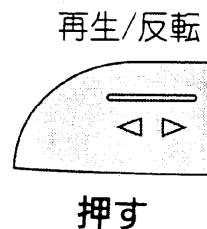
# テープを聞くには

本機では、録音、再生共ノーマルタイプのテープを使用してください。

ホールドスイッチを解除し、“録音/再生の準備”(8ページ)



## 1 再生開始



◀FWD—おもて面再生  
REV▶—うら面再生

- テープの走行方向を変えるには、再生中に再生/反転ボタンを押します。

再生を止めるときは  
停止ボタンを押します。

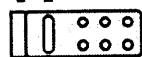
をします。

## 2 音量、音質を調整する

音量/VOS



レーザーマチック/音質  
切/低 入/高



高/高音を強調  
低/高音が弱まる

### 早送り、巻戻しをするには

停止中に、早送りボタンまたは巻戻しボタンを押します。

- 再生中に早送りボタンを押すと、テープの終端で自動的に反対面の再生が始まります。
- 再生中に巻戻しボタンを押すと、テープを聞いている面の始めから自動的に再生します。

### 頭出し、くり返しをするには

再生中に頭出しボタンまたはくり返しボタンを押しつづけると、キュルキュルというモニタ音を聞きながら、頭出し、くり返しができます。

指を離すと、その位置から再生が始まります。

### テープスピードを変えるには

テープスピード  
速い ◀ ● ▶ 遅い



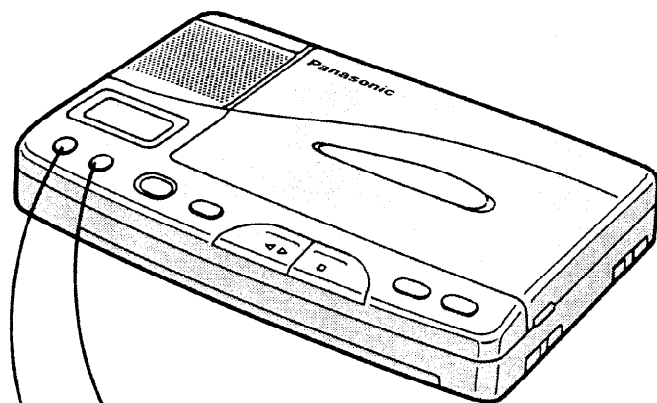
白い点を合わせたところが、標準のスピードです。

- 録音時には働きません。

# インデックス機能について

早送り、巻戻し時に、あらかじめ記憶させていたところでテープ走行を一時的に停止させる機能です。

聞きたい所の頭出しに便利です。



インデックスボタン

リセットボタン

## 記憶のさせかた

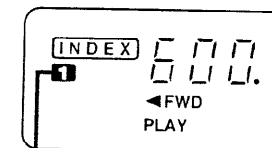
(3カ所まで記憶させることができます)

録音時、または再生時にお好きなテープ位置で

インデックス



押す



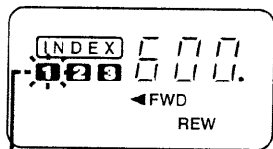
インデックス番号点灯

## インデックスによる一時停止のさせかた

- ① **INDEX** が点灯していることを確認する  
(消灯のときには、インデックス機能は働きません。)

停止時にインデックスボタンを押すと、**INDEX** の消灯、点灯を切換えることができます。

②早送り、巻戻し時に記憶させたテープ位置に来ると

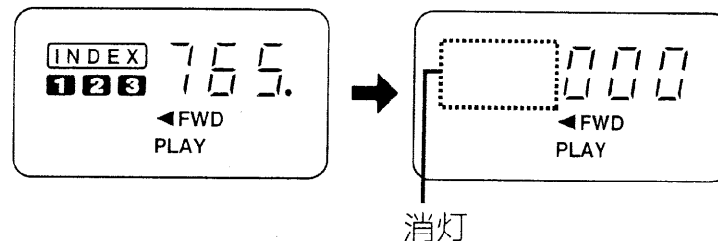


約3秒間点滅

- この間、テープ走行停止。  
この間に再生/反転ボタンを押すと、その位置より再生を始めることができます。
- インデックス番号点滅時にそのままにしておくと、約3秒後に再び早送り、巻戻しを開始し、次のインデックス番号があれば、そこで再び停止します。
- 頭出しまたはくり返し中は、記憶させたテープ位置に来ると、インデックス番号が点滅し、テープ走行が止まります。押ししていた指を離すと、約3秒後に、再生が始まり、押し続けると再び頭出し、くり返しが始まります。

インデックス番号を取消すには

リセットボタンを約1秒以上押します。  
カウンタが“000”に戻り、インデックス番号が消えます。  
(インデックス番号を一つずつ取消すことは、できません。)



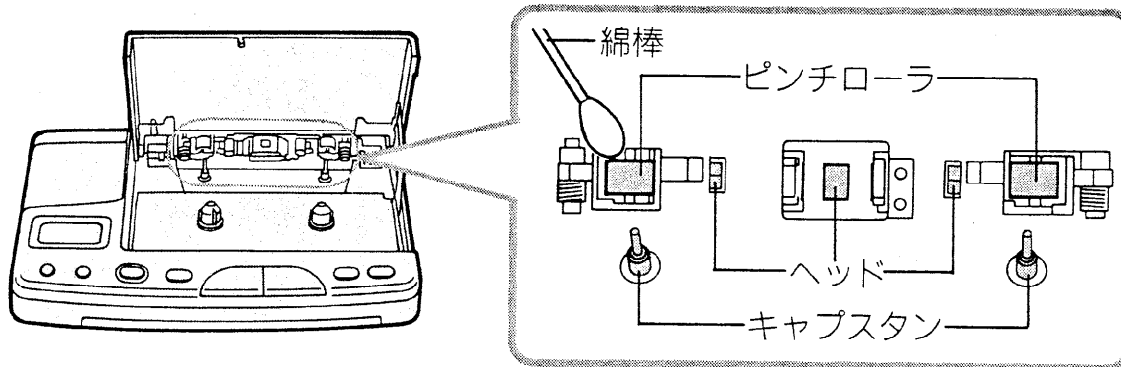
ご注意

- インデックスは、テープカウンタの数値によって記憶されていますが、テープの位置によっては、記憶させた数値より、わずかにずれて止まることがあります。
- インデックス番号を点灯させたあとテープを入替えたりすると、正しく働きません。

# お手入れ

## ヘッド部

良い音でお楽しみいただくために、ときどきヘッドなどをクリーニングキット(RP-919,別売り)できれいにしてください。



## 本体およびインサイドホン

本体が汚れたときは、乾いた布でふいてください。

汚れがひどいときは水で布をしめらせてふいた後、からぶきしてください。

インサイドホンのプラグはいつもきれいに！音が途切れたり、プラグを回転させたときに、「ジャリッ！」と音がしたときは、プラグをきれいにふいてください。

### ご注意

- 本機には絶対に注油しないでください。注油しますと故障の原因になることがあります。
- ヘッドにドライバなどの鉄類や磁気を帯びたものを近づけないでください。性能が悪くなります。
- ベンジンやアルコール、シンナーなどの溶剤でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
- 化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと、変質する場合がありますので、ご注意ください。

# 安全にご使用いただくために

本機内部には絶対に触れないでください。

- 改造したり、不用意に内部を触ると、故障の原因になります。

風呂場など湿気の多い所やほこりの多い所では使用しないでください。

高温になる所に放置しないでください。

- 夏季の閉めきった自動車内(100°Cにも達することがある)や、長時間直射日光の当たる所、暖房器などの近くで使用したり、放置しないでください。
- 60°C以上の高温になると、キャビネットが変形・変色したり、故障することがあります。

定期券やキャッシュカードなどの磁気カード類や時計などをスピーカに近づけないでください。

- スピーカのマグネットの影響でカードが使えなくなったり、時計が狂ったりすることがあります。

落としたり、強い衝撃をあたえないでください。

## 露付き現象について

本機を0°C前後から暖かい場所へ急に移したとき、正常に動作しないことがあります。これは、本機の動作部に露が発生したためで、60分程で正常に戻ります。

## インサイドホンについて

- 耳をあまり刺激しないよう、また、周囲の人に迷惑をかけない程度の適度な音量でお楽しみください。
- 交通安全のため、自転車やバイク、自動車などの運転中は絶対にご使用にならないでください。また、歩行中でも音量を上げ過ぎると外の音が聞こえにくくなり危険ですので、踏切や横断歩道などでは周囲の交通に十分注意してください。

# 故障!?!と思う前に

修理を依頼する前に、もう一度次のことを確認したのち、それでもなお異常の場合には、お買い上げの販売店へご相談ください。

現 象	確 認 方 法
テープが走行しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 乾電池が消耗していませんか？</li> <li>● 乾電池の入れかたが間違っていないですか？</li> <li>● 乾電池電源に切替えるとき、ACアダプタのプラグを本体からはずしていますか？</li> </ul>
ボイスオーバーション V O S 録音時、テープが止まらない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音量/VOSレベル調整つまみが“10”近くになっていませんか？</li> </ul>
ボイスオーバーション V O S 録音時、テープが走行しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音量/VOSレベル調整つまみが“0”に近くなっていませんか？</li> </ul>
早送り・巻戻しが遅い、回転ムラ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 乾電池が消耗していませんか？</li> <li>● カセットテープの回転が重くありませんか？</li> </ul>
再生音が小さい。 録音・再生音が割れる。 高音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ヘッドが汚れていませんか？</li> <li>● 乾電池が消耗していませんか？</li> </ul>
録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機にカセットテープが入っていますか？</li> <li>● カセットテープの安全片が欠けていませんか？</li> </ul>

- 本機を他のラジオやテレビなどの電気機器の近くで使用すると、互いに干渉しあって雑音が入ることがあります。



# 別売りアクセサリ

---

テレビ、ラジオや他のテープレコーダから  
ステレオ録音するとき

- フォーン・ツウピンコードS  
.....RP-CA59A
- ミニフォーン録音コードS  
.....RP-CA2A

---

電話機の声を録音するとき (モノラル録音)

- テレホンピックアップ.....RP-WA1
- 

---

AC電源を使用するとき

- ACアダプタ.....RP-AC11A
- 

ヘッド部の清掃をするとき

- クリーニングキット.....RP-919

消去するとき

- 消去用プラグ⊕.....QJP0959L  
(⊕はサービス部品扱いです。)
- 

♣ アクセサリは、この他各種取りそろえてお  
ります。お近くの販売店でお求めください。

# アフターサービス

## 保証書（別に添付してあります。）——●

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記載を確かめて販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

**保証期間** — お買い上げ日から1年間

## 修理を依頼される時 ——●

「故障!?と思う前に」の項にしたがって調べていただき、直らないときには次の処置をしてください。

### ●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れいりますが、製品に保証書を添えてご持参ください。お買い上げの販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「ご相談窓口」（別紙ご参照）にご連絡ください。

### ●保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店へご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「ご相談窓口」（別紙ご参照）にご連絡ください。

### 補修用性能部品の最低保有期間 ——●

本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

この期間は通商産業省の指導によるものです。

### アフターサービス等について、

### おわかりにならないときは ——●

お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」（別紙ご参照）にお問合せください。

# 定格

トラック方式：ステレオ

録音方式：交流バイアス

消去方式：DC消去

モニタ方式：バリアブルサウンドモニタ方式

周波数範囲：ノーマルテープ：150～5000Hz(EIAJ)

入力端子：マイク：0.8mV(200～600Ω)

出力端子：ヘッドホン：16Ω

スピーカ：3.6cm丸型8Ω

実用最大出力：80mW(EIAJ)

(DC時)

電池持続時間：約7時間(EIAJ録音時、または再生時VOL.中央付近/乾電池2本使用時)

約2.5時間(EIAJ録音時、または再生時VOL.中央付近/乾電池1本使用時)

(付属ナショナル乾電池ネオ《黒》(R6P)使用時)

電源：乾電池：DC1.5V(単三形乾電池×1個または2個)

AC：100V 50/60Hz(別売りACアダプタRP-AC11A使用)

最大外形寸法：148.8(幅)×24.8(高さ)×92.5(奥行)mm(EIAJ)

重量：約245g(乾電池を含む)

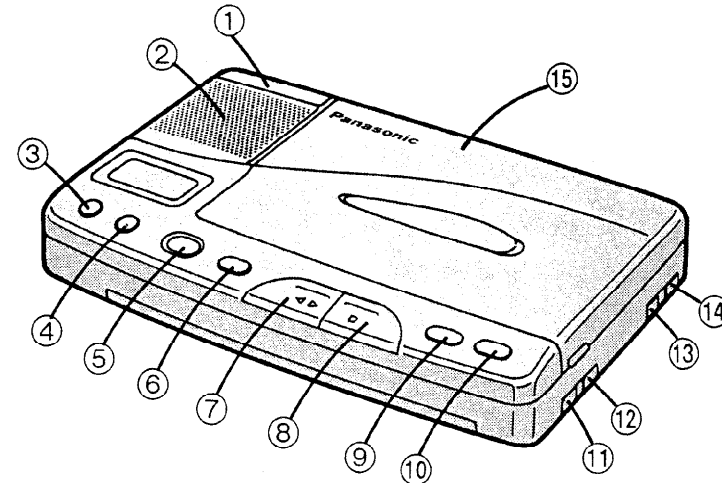
★この定格は性能向上のため予告なく変更することがあります。

# Operating Instructions

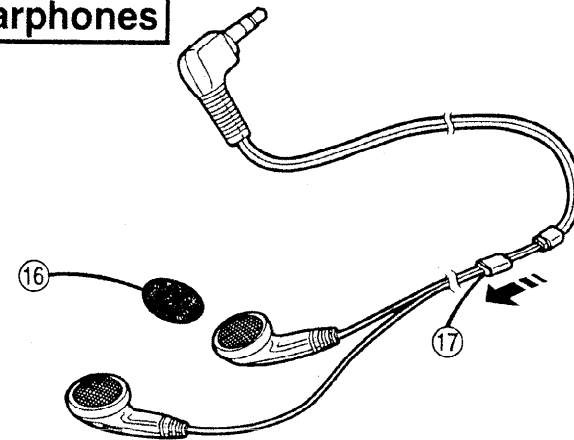
## Names and Functions of Controls

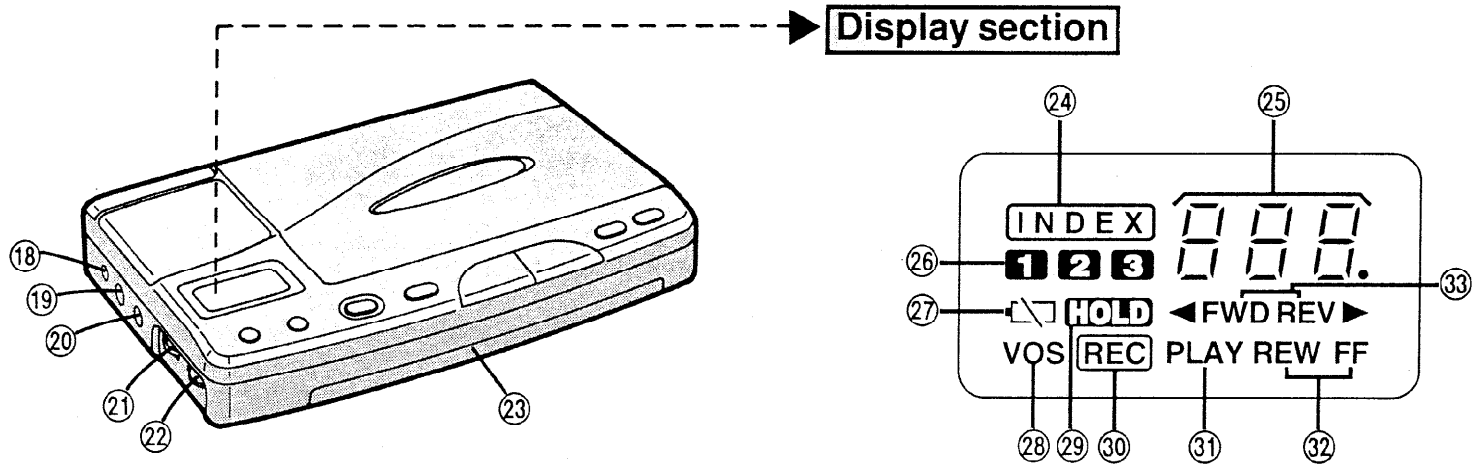
- ① Built-in microphone
- ② Speaker (monaural)
- ③ Reset button
- ④ Index button
- ⑤ Cassette compartment open button
- ⑥ Record/rec-pause button
- ⑦ Play/direction button
- ⑧ Stop button
- ⑨ Rewind/review button
- ⑩ Fast forward/cue button
- ⑪ Hold switch
- ⑫ Reverse mode selector
- ⑬ Radarmatic/tone selector
- ⑭ VOS switch
- ⑮ Cassette compartment cover
- ⑯ Ear pad
- ⑰ Slider

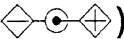

Thank you for purchasing this unit.  
For optimum performance, follow operating instructions carefully.



### Stereo earphones





- ⑱ DC input jack (DC IN 1.5 V )
- ⑲ Headphones jack ( )
- ⑳ Stereo microphone jack
- ㉑ Tapespeed control
- ㉒ Volume/VOS level control
- ㉓ Battery compartment cover

- ⑳ Index indicator
- ㉑ Tape counter
- ㉒ Index number indicator
- ㉓ Battery consumption indicator
- ㉔ VOS indicator
- ㉕ Hold indicator
- ㉖ Record indicator
- ㉗ Playback indicator
- ㉘ FF/CUE REW/REV indicator
- ㉙ Direction indicator

## Battery Operation

(Refer to page 6.)

1. Open the battery compartment cover.
2. Insert two “AA” size (R6P/UM-3) batteries into the battery compartment. Make sure that the batteries are installed with proper polarities.

- This unit can also operate on one battery.

## Preparations

### ■ Cassette Insertion

(Refer to page 8.)

### ■ Hold operation

Setting the hold switch to “ホールド” position will hold the present condition of all controls of mechanism.

The unit will not be turned on even if the play/direction button pressed by mistake.

Before operation, be sure to release the hold state.

### ■ Auto reverse system



Non-reverse recording mode



Auto-reverse playback/recording mode



Auto-continuous playback mode

## **Radarmatic Recording**

(Refer to page 10.)

This unit is equipped the radarmatic recording system. It allows you to record the lecture and conference more clearly.

- 1. Release the hold state.**
- 2. Select the reverse mode.**
- 3. Slide the radarmatic selector to “ 入 ”.**
- 4. While pressing the record button, press the play/direction button.**
  - The record indicator will light.

## **VOS Recording**

(Refer to page 12.)

VOS (Voice Operation System recording)

When recording using the VOS function, The sound is recorded automatically, so there is no tape waste.

Then the VOS switch is set to “ 入 ”, the tape runs when sound is picked up by the built-in or external microphone and when no sound is picked up, tape stops running automatically (about 4 seconds later).

- 1. Release the hold state.**
- 2. Select the reverse mode.**
- 3. Set the VOS switch is set to “ 入 ”.**
- 4. Slide the radarmatic selector, if this function is desired.**
- 5. While pressing the record button, press the play/direction button.**
- 6. Adjust the voice operation level using the volume/VOS level control.**
  - The lighting of the record indicator indicates that the tape is running and recording is being made.

- Voice operation level adjustment the volume/VOS level control should be normally set the “4–7” position. To record loud sound only, rotate the control toward the control toward “1–3”. To record low sounds, rotate toward “8–10”. No sound is recorded at the “0” position.

### ■ Monitoring

The monitor system enables you to listen, through the headphones to the sound as it is being recorded. The monitor level can be adjusted by the volume/VOS level control.

### ■ Erasing

Recorded sounds on the tape are automatically erased when a new recording is made.

## Recording from included Stereo Microphone

(Refer page 16.)

1. **Connect the included stereo microphone to the microphone jack.**
2. **While pressing the record button, press the play/direction button.**
  - The recording indicator will light.



## Tape Playback

(Refer to page 18.)

1. **Release the hold state.**
2. **Select the reverse mode.**
3. **Press the play/direction button.**
4. **Adjust the volume and tone.**

### ■ Fast forward and rewind

The tape will move rapidly when the fast forward/cue button is pressed. The tape will rewind rapidly when the rewind/review button is pressed.

### ■ Cue and review

If the fast forward/cue (or rewind/review) button is partially press and hold during playback, the recorded sound on the tape can be monitored at a fast speed.

When the button is released, playback will resume.

## Index Function

(Refer to page 20.)

This unit can memory maximum 3 tape counter positions during playback or recording.

### How to memorize

Press the index button during playback or recording. The index number will indicate on the display.

### How to use the index function

1. **Confirm the “ INDEX ” indicator appears on the display. If not, press the index button to turn on the indicator.**
2. **Perform the fast forward or rewind operation.**
3. **When the tape reaches to the memorized position, the tape will stop and then index number will flash for about 3 seconds. In this 3 seconds, press the play/direction button to start the playback immediately.**
  - If leaving the flashing condition, the fast forward or rewind operation will resume after 3 seconds.

- During cue or review operation, when the index number is flashing, if you release your finger, the playback will start about 3 seconds later. (If you keep on pressing, the cue or review operation will resume about 3 seconds later.)

## Maintenance

(Refer to page 22.)

## Specifications

Track system:	4-track 2-channel stereo
Recording system:	AC bias
Erase system:	DC erase
Monitor system:	Variable sound monitor
Frequency range:	150–5000 Hz (Normal)
Jacks	
Input:	MIC; 0.8 mV (200–600 $\Omega$ )
Output:	PHONES; 16 $\Omega$
Speaker:	3.6 cm, 8 $\Omega$
Power output:	80 mW $\times$ 1
Power requirement:	Battery: 1.5 V [one or two of the included “AA” size (R6P) batteries]
Dimensions:	148.8 (W) $\times$ 24.8 (H) $\times$ 92.5 (D) mm
Weight:	245 g (with batteries)

Specifications are subject to change without notice.

**Please consult the shop at which you have purchased the set about warranty and service.**

便利メモ (おぼえのために、記入されると便利です。)

お買い上げ日	年 月 日	品 番	RQ-L500
販売店名	電話 ( ) -		
最寄りのご相談窓口	電話 ( ) -		

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部

〒571 大阪府門真市松生町1番4号 ☎(06)909-1021

Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. Audio Division

1-4 Matsuo-cho, Kadoma City, Osaka, Japan 571 ☎(06)909-1021

RQFK2029ZA F0592D0

Printed in Japan